

5 ヒアリング調査結果

5-1 草津川について (令和元年8月9日)

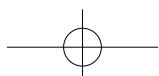
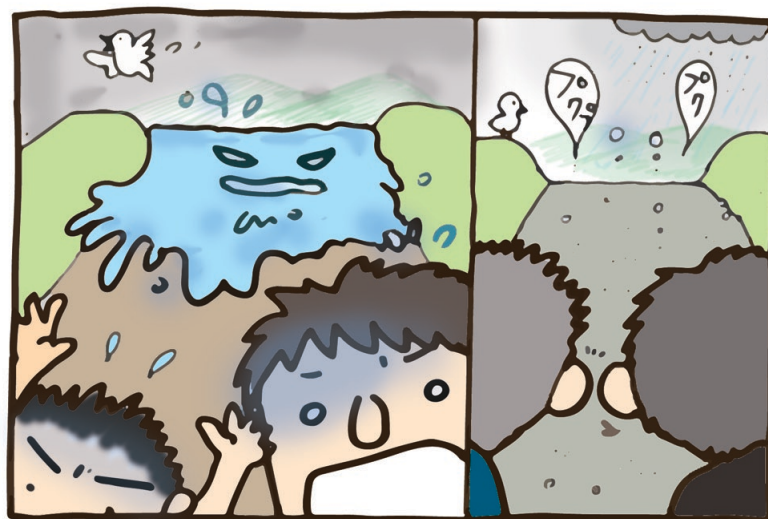
草津川流域で長年生活をしてこられ、草津川流域の歴史にも詳しい木村兼久氏からお話を伺った。

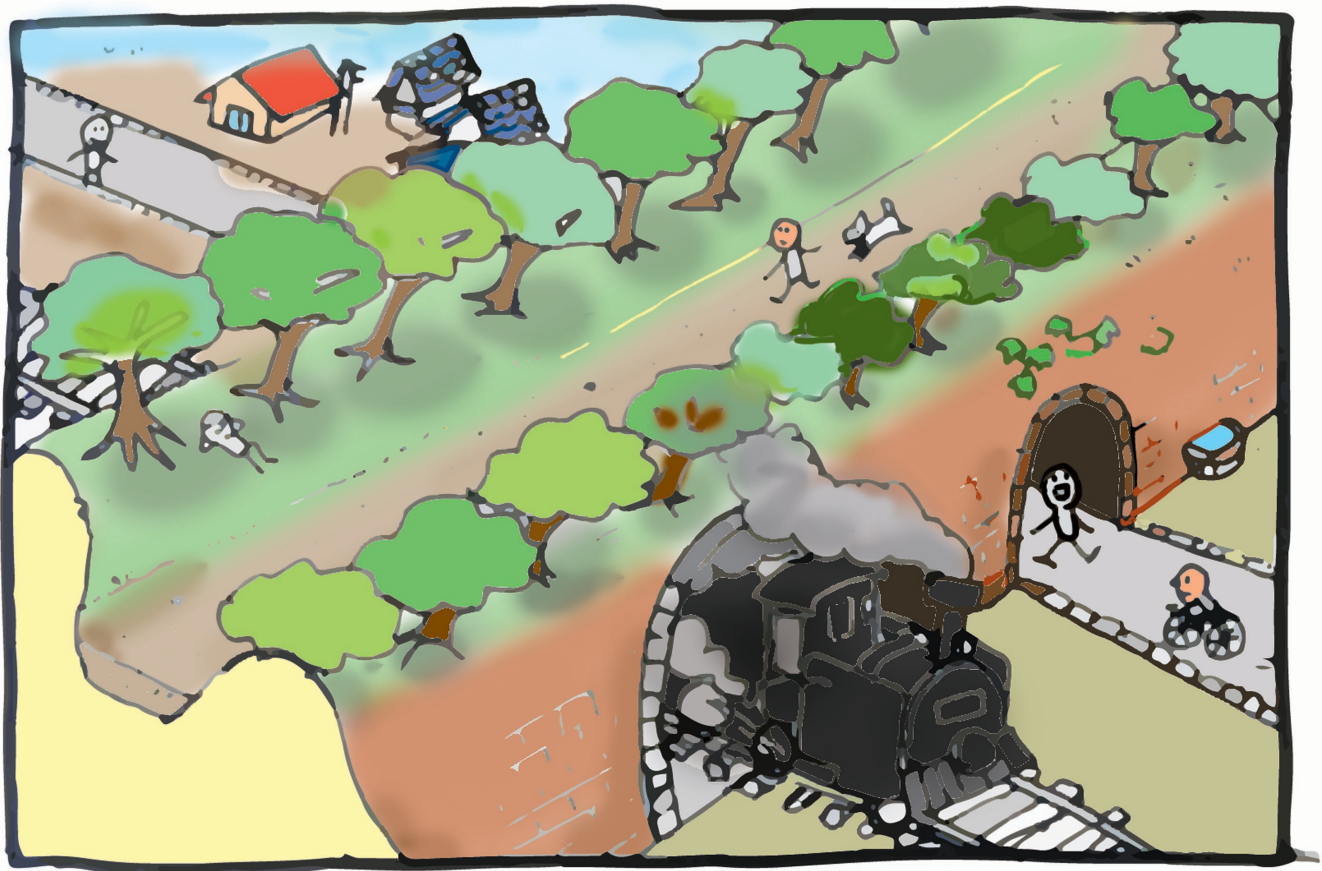
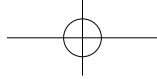
<マンボ建設に伴う天井川のかさ上げについて>

- ・明治19年頃から鉄道の敷設に伴いトンネル（マンボ）の工事が進められてきた。その際、マンボの高さよりも高くしないと水が流れないため、草津川の上流側をかさ上げしてきた。また、かさ上げだけではトンネルの内径を確保するのが難しかったため、川の脇にある道路の高さを下げる必要もあった。
- ・昭和37年から昭和42年頃に国道の拡幅を行い、矢板を打つのに失敗したとのこと。写真が残っている。

<旧草津川やその付近の様子について>

- ・草津川は、普段は水が流れていなかった。夕立等雨が降ると、水が沈みこみながら流れていくような様子であった。その際には川の砂から気泡があふれ出し、プチプチ(?)と音がしていた。
- ・雨の時に琵琶湖から魚が川を上っていた。その魚は、水が引いた後、池や水たまりにたくさんいた。しかし、当時(昭和40年代)は、公害の時代で、取って食べようとは思わなかった。





- ⇒今は、そのような天井川の姿を見ることはあまりできないが、一部光善寺川等では見られるのではないかな？
- ・昔は、ため池もたくさんあった。農業の灌漑用として利用していた。川から水を引いたり、地下水を使用しているものもあったと思う。琵琶湖の逆水を使うようになってから、ため池も減った。
 - ・昔は、馬の徒走（競馬）も行ってた。

<伏流水の利用について>

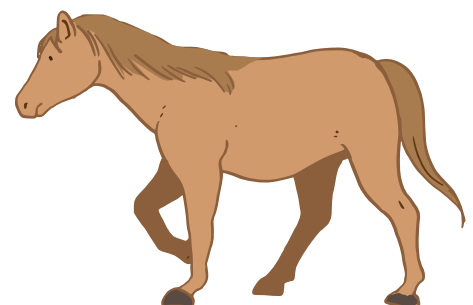
- ・川岸には伏流水が出ていた。飲み水というより洗濯等の生活用水として使用していた。深く掘れば“かなげ”が出るので、浅い井戸（5m程度）から地下水をくみ上げていた。
- ・廃川になってからは、水が出なくなったところが多いが、今も木村さんの家では水が出る。

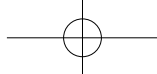
<水害について>

- ・トイレも汲み取り式だったため、水害の際にはあふれ出して大変だった。
 - ・上流の田んぼのところで、堰をあえて切るようなこともあった。
- 昭和28年の際やそれ以前にも昔から行ってたと思う。

<廃川による影響について>

- ・伏流水がなくなったことに加え、地盤沈下した。
- 最大で25cm下がったところもある。家が傾いているようなところもある。





5-2 葉山川について (令和元年9月25日)

葉山川流域の歴史に詳しい草津塾原嶋さん、藤原さん、葉山川近くにお住まいだった木村さんをお招きして、天井川改修前後の生活についてお話を伺った。

<葉山川について>

- ・葉山川は途中で水がなくなり、びわ湖まで水が届いていなかったため、しりなし川と言われていた。
- ・平地化したところでは、湧水はなくなってしまった。
- ・葉山川は上流の水の放水路であったため、町の付近で雨が降っていても、上流で雨が降ると、水かさが増したため、きつね川とも呼ばれていた。
- ・葉山川は、砂川・きつね川・しりなし川等、様々な呼び名があった。

<洪水について>

- ・砂川はよく氾濫した。
- ・洪水になると、鐘を鳴らして町内の人に知らせていた。
- ・住居が洪水で浸からないように、田んぼで堤防を切ることもあった。
- ・堤防の補修、砂を上にあげる作業、門扉の点検等、近くに住む人が共同で守っていた。
- ・天井川を荷車等で渡る際に、堤防を乗り越えるのが大変だったため、堤防を事前に切っておいて、生活の道として利用していた。水かさが増えると、門扉の蓋をし、橋板を立てて、土嚢を積んで備えた。
- ・天井川は雨が降ると、茶色の水が流れてくるので、常に見張っていた。
- ・堤防の底に穴があくことで、堤防が切れてしまうことがあった。
- ・木村さんが知っている間で、3回ほど切れたことがあった。
- ・葉山川は直角に曲がっていたので、角のところで堤防が切れた。

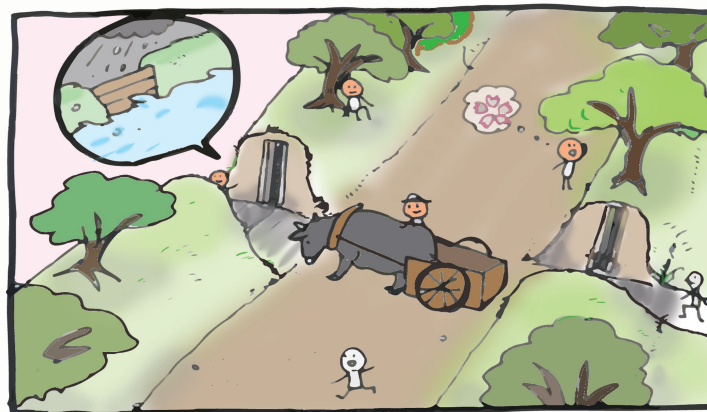
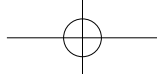
<生活と水の関わりについて>

- ・湧き水があった。
- ・池をつぶしたときに、生き物の供養をしたこともあった。
- ・昔は1階建ての建物が多かったため、天井川は高く感じた。
- ・上流の水の放水路として町の真ん中に流れていた。
- ・もともと田んぼに天井川の水を入れていたということはない。
- ・ため池の水を田んぼに入れていたが、今はびわ湖の逆水を利用している。
- ・野菜を洗う水、風呂の水は川の水を使っていた。下流も同じ水を使うので、気を使っていた。
- ・井戸水は金気が多かった。砂や炭でろ過して使っていた。

<天井川の痕跡について>

- ・天井川の壁や石垣が残っている場所がある。
- ・旧葉山川は今、道路になっている。





<質疑応答、主な意見交換>

・天井川が直角になっていたのはなぜ？

→条里性のおかげ。川の付近で室町時代の鏡も出土しているため、昔、住んでいたところに、水の流れを呼び込んだのではないかと。

・井戸水も生活に使っていた？

→生活の水は川の水だった。井戸水は金気が多かった。

・現在の葉山川は旧葉山川の脇に平地化した。中ノ井川、伊佐々川が合流するようになり、もともと栗東は洪水が多かったが、そのリスクが低減した。

・川の水は、野洲川の伏流水等が流れ出していた。

